A photograph of an outdoor swimming pool with several swimmers in mid-dive. The pool is blue with lane lines. In the background, there is a large, modern building with a glass facade and a clear blue sky with a bright sun.

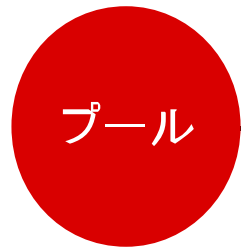
**令和 8年度
長野県スポーツ施設等安全管理講習会
「プール施設の安全管理について」**

**公益財団法人 日本スポーツ施設協会
水泳プール部会・講習会資料**

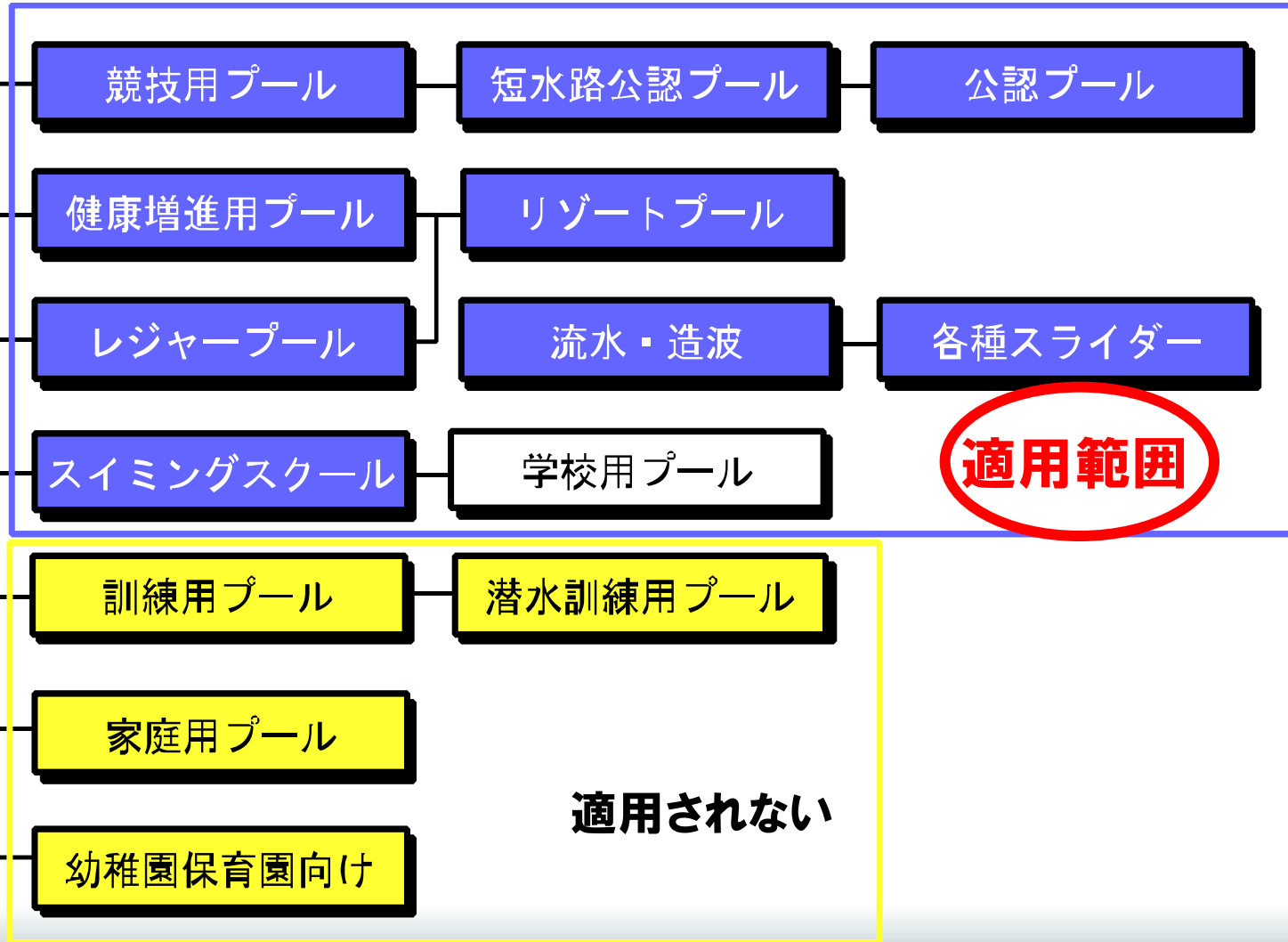
はじめに
①プールの一般知識



プール施設の種類 (プールの安全標準指針)



プール



※100m³以上の水量で
不特定多数が遊泳する施設

プールの種類（飛び込み行為の禁止）

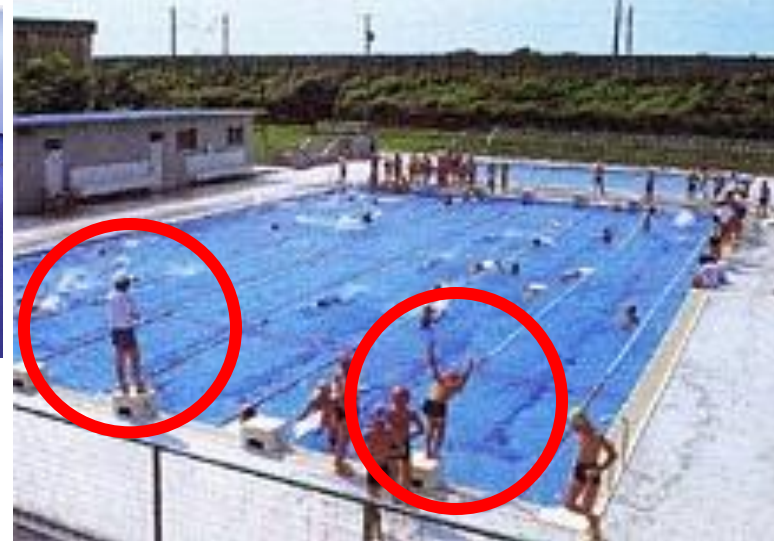
競技用プール



健康増進用プール



教育・学校プール



スイミングスクール



フィットネスクラブ



アミューズメントプール



個人邸プール



幼稚園・保育園



プールでの水深と飛び込み行為の制限

一般的なプールの水深と安全重視

・レジャープール	0.6m~1.4m	(0.6-1.0)安全重視
・学校・小中学	0.8m~1.4m	(0.8-1.1) "
・高校・大学一般	1.2m~1.8m	(1.0-1.4) "
・競技用	1.35m~2.0m	(日本水連第20条)
・飛び込み	3.0m~5.0m	

(公財)日本水泳連盟公認プールとは・

日本の公式水泳競技に使用するプールは、
日本水泳連盟のプール公認規則により
認められたプールでなくてはならない (第3条)(第20条)
(2024年4月改正施行)

②施設備品の点検



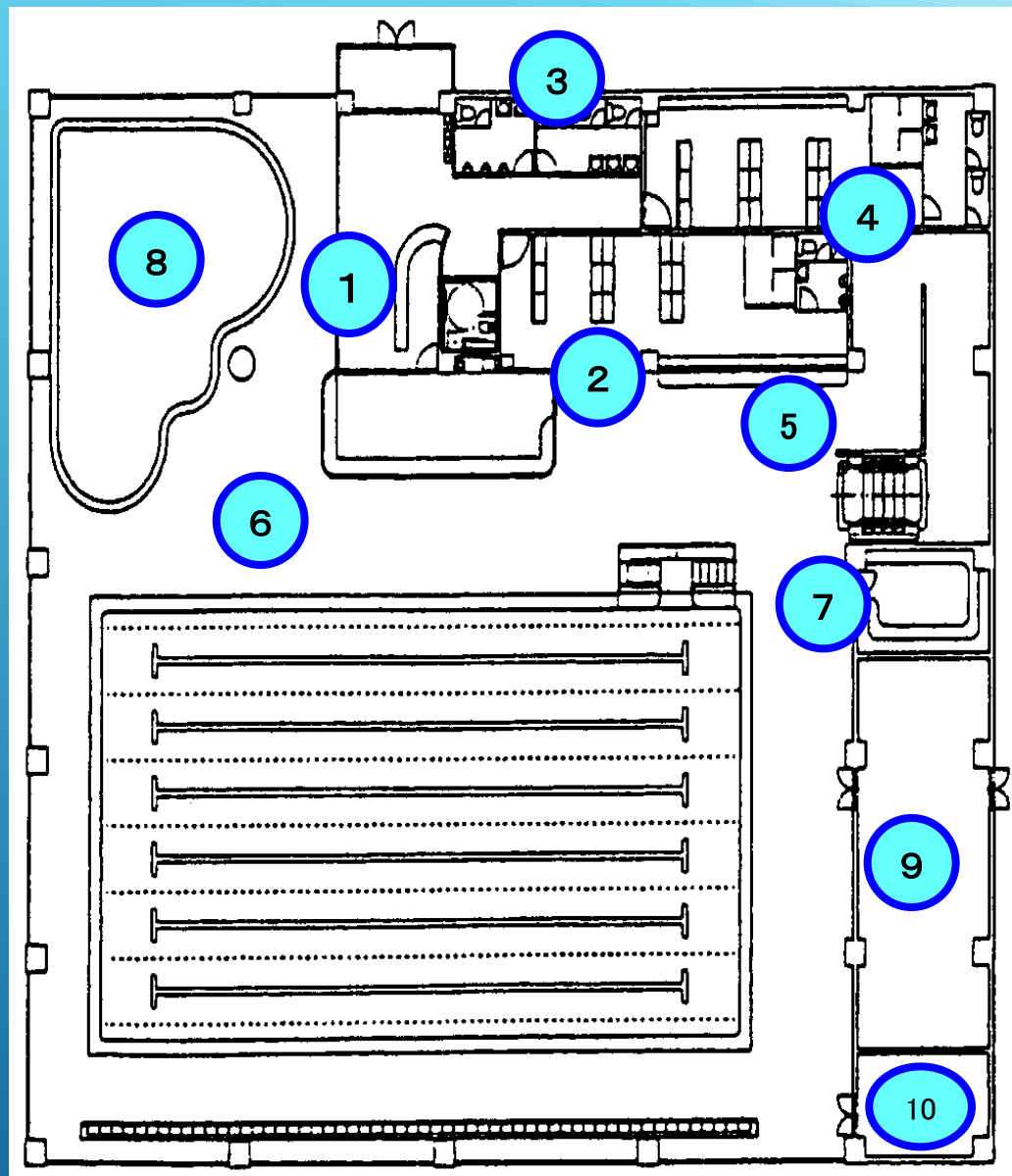
プール施設

利用者施設

- ①受付
- ②更衣室ロッカー
- ③トイレ
- ④シャワー
- ⑤強制シャワー
- ⑥プールサイド
- ⑦監視 救護室
- ⑧幼児プール

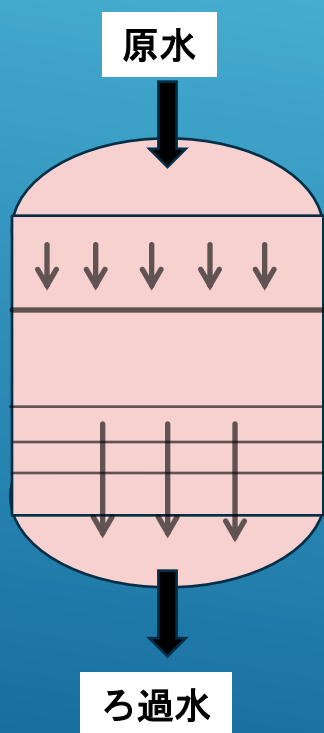
プール関連設備

- ⑨器具庫
- ⑩機械室
ろ過機 ボイラー他

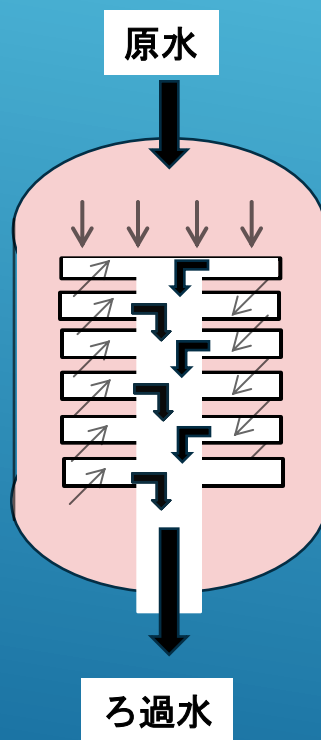


プール水の水質維持装置

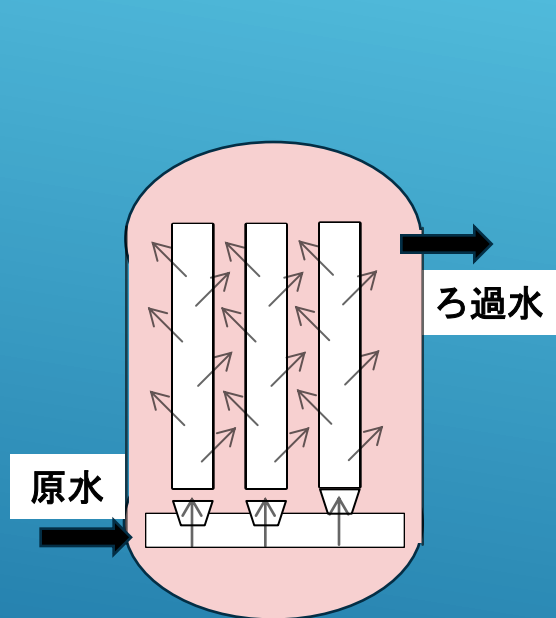
砂式



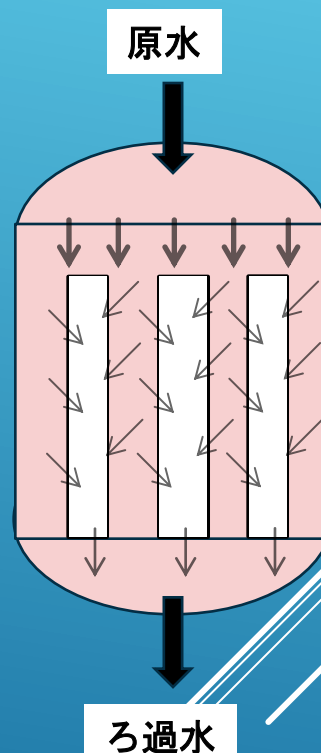
珪藻土式
外面プレート式



珪藻土式
内面プレート式

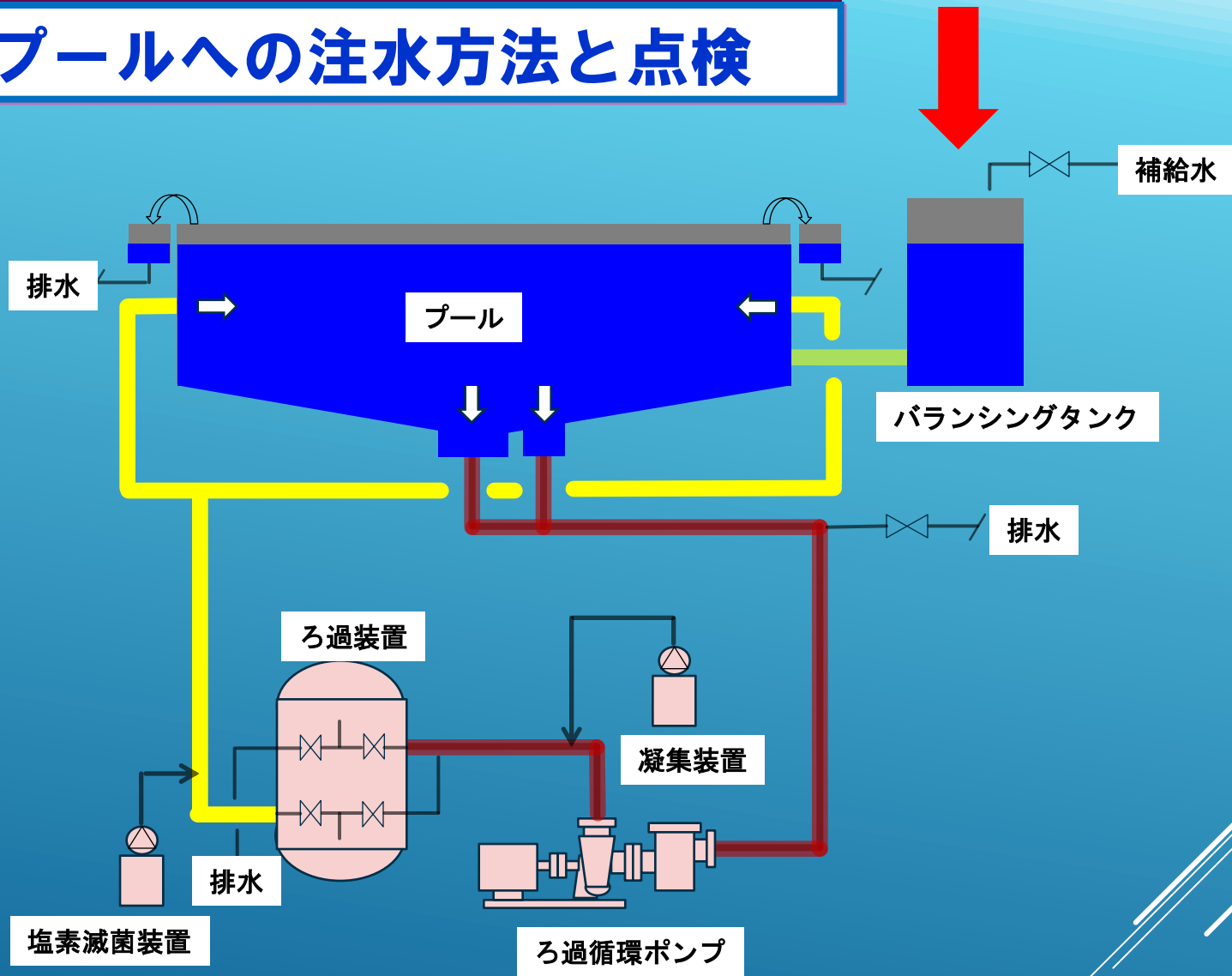


カートリッジ式



各種ろ過機の原理図

プールへの注水方法と点検



監視・救護室について

(1) 監視

緊急時の司令室、監視員の休憩所

(2) 救護室

ベッド、毛布、担架、
救急医薬品、AED

(3) プールサイド

ストレッチャー、水中担架
ライフセイバーチューブ等



事故は異種薬品の容器が同色の場合が多い

次亜塩素酸ナトリウムの容器



ポリ塩化アルミニウムの容器



次亜塩素酸ナトリウムを投入する容器



ポリ塩化アルミニウムを投入する容器



プール周辺機器用具の点検



③施設の安全管理



プール三大事故の撲滅

- ① 溺水事故 …… 遊泳中に溺れる
- ② 飛び込み事故 …… スタート台の常設等
- ③ 吸い込まれ事故 …… 二重構造の不備等

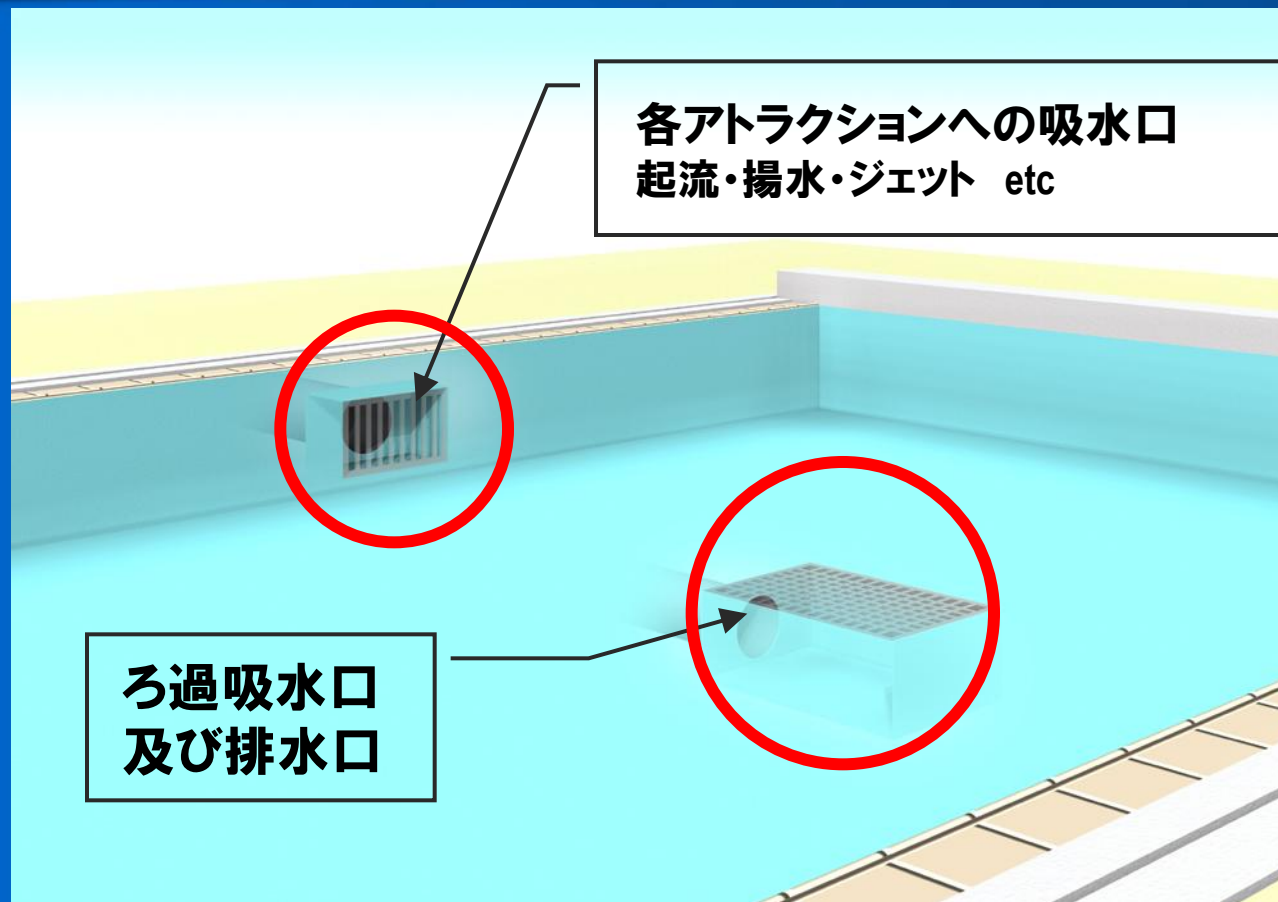
①溺水事故と ②飛び込み事故の防止は監視員
及び管理体制(ソフト面)への依存が大きい

③吸い込み事故は、ハード面で防止できる可能性が
非常に高い

2025 全国プール事故 記録

県名	施設	年齢	症例	経過	プール規格 水深
6/23 福岡県	小学校プール	46名中 22名異常	湿疹・手のしびれ 腹痛者は病院へ	プールサイドの マット圧迫痕等	25mプール 異常なし
7/1 北海道	幼稚園プール	園児 3歳女児	溺水事故 園児11名監視2名	意識無し・回復 ドクターヘリ病院	水深2-3cm ビニールプール
7/9 滋賀県	小学校プール	6年生 62名	火傷症状 プールサイドに座る	軽度の症状 (マット上に5分)	25プール 気温35℃
7/26 高知県	ホテルプール	小学 5年男児	溺水事故 水底に沈み発見	意識なしドクターヘリ 後日意識回復	屋外プール 水深100cm
7/26 東京都	民間プール	小学 1年男児	溺水事故 学童クラブ貸切中	当日死亡 (刑事事件)	25mプール 水深120cm
1/19 岐阜県	市民プール	幼児	溺水事故 水泳教室中	意識不明 その後病院で回復	複合施設

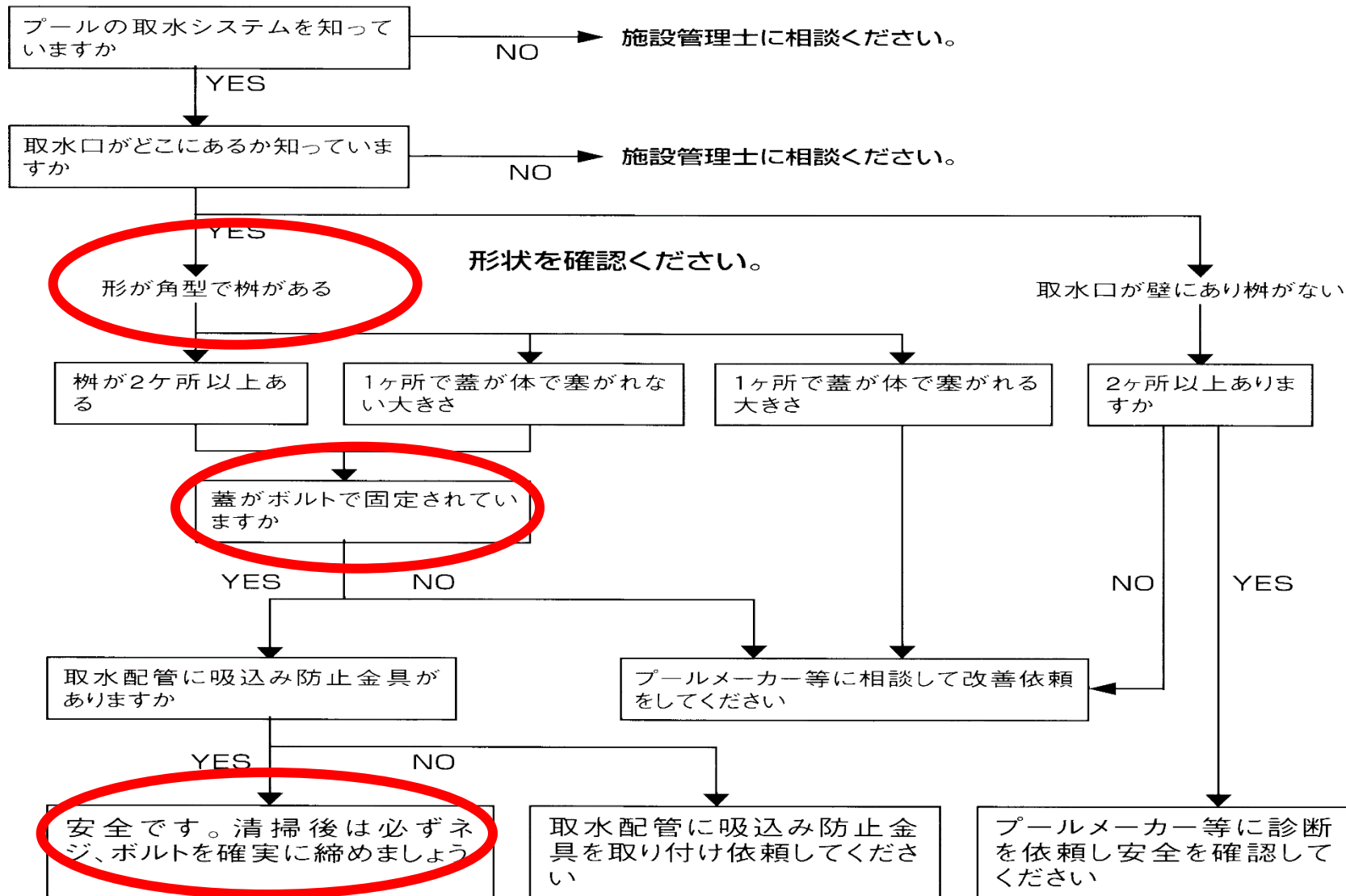
取水口 排(環)水口 吸い込まれ事故



＊ 排水口、吸水口、取水口、環水口

＊ 給水口、吐水口、出水口

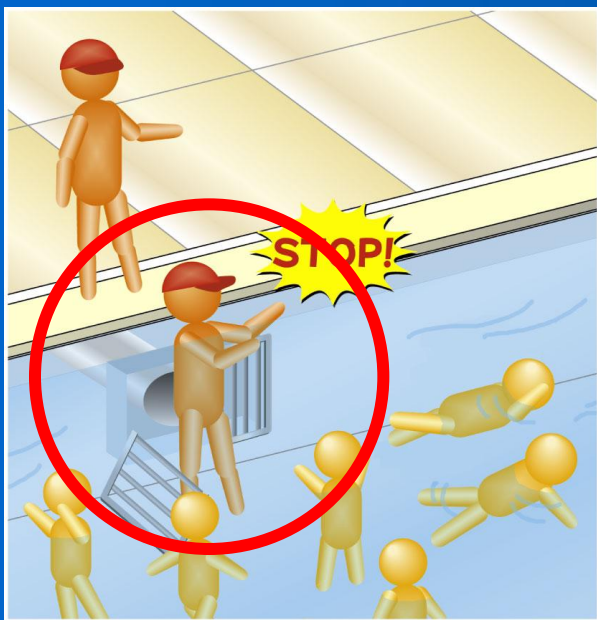
安全チェックリスト



緊急時への対応

①危険箇所の安全確保

危険個所の前面に立ち、
遊泳者を近づけない



【例】排（環）水口の蓋（柵）が外れた

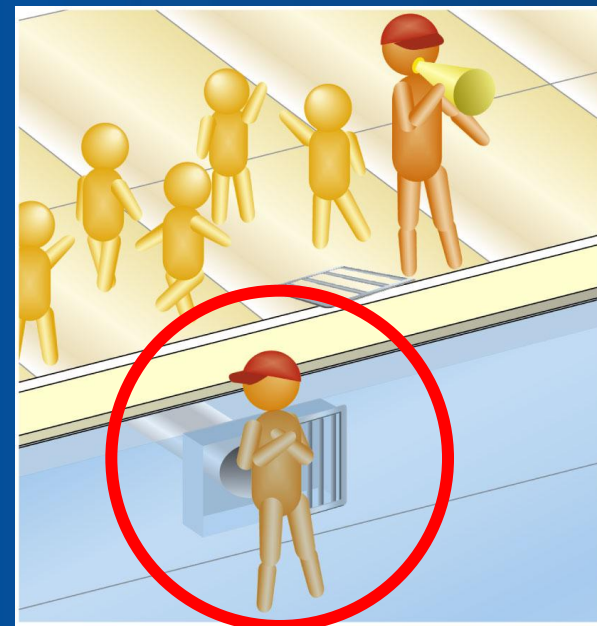
②ポンプの緊急停止

①と同時に無線連絡等
で緊急のポンプ停止



③プール使用の一時中止

遊泳者をプールサイドへ
誘導する。（緊急避難誘導）



④施設の維持管理



日常点検チェックシート（例）

平成	年	月	日	天候（ ）	点検者		管理者	
点検箇所	点検内容				点検方法	判定		
プールサイド	滑りやすくなっていないか				目視・手	合・否		
プール本体	怪我につながる割れやカケがないか				目視・手	合・否		
プール水	異常に水位が下がっていないか				目視	合・否		
	浮遊物や沈澱物がないか				目視	合・否		
	異常に濁っていないか				目視	合・否		
	水質は適正か				検査キット	合・否		
ラダーハンドル	しっかり固定されているか				目視・手	合・否		
スタート台	しっかり固定されているか				目視・手	合・否		
コースロープ	ワイヤに錆やホツレがないか				目視・手	合・否		
	フロートに割れがないか				目視・手	合・否		
排水溝蓋	怪我につながる破損やカケはないか				目視・手	合・否		
循環ポンプ	パッキンからの水漏れはないか				目視	合・否		
集毛器	浮遊物が詰まっていないか				目視	合・否		
塩素滅菌器	薬品は充分か				目視	合・否		
排・環水口	蓋は確実に固定されているか				目視・手	合・否		
薬品類	在庫は適正か				数量	合・否		
出入り口	施設は確実にされているか				目視	合・否		
その他	危険な箇所はないか					合・否		
特記事項								

日常点検チェックリスト

シーズン前後の点検

■ 点検チェックシートを作成

～水を抜いた状態で点検を行う。

(点検チェックシートは3年以上保管する)

- ① プール本体 … 本体タイル面等の破損
- ② プールサイド … 地盤沈下、形状の変化
- ③ プール備品 … ワイヤー、フロートの異常、破損
- ④ ろ過装置関係 … 水漏れ、ろ材の詰まり
- ⑤ 塩素滅菌器 … 作動の確認、異常音、薬品管理
- ⑥ 排（環）水口 … ボルト、ネジ固定と吸い込み防止金具

日常の点検と監視

① 施設の点検 (点検チェックシートの活用と管理日誌)

- * プールの利用前後、公開中、休憩時間中の点検。
- * 重点箇所の指定と目視、触診、打診による点検。
- * 気温、水温、水質検査を定時に実施。

② 監視員

- * 監視員の位置と配置人数の適正確認。
- * 監視台（タワー）の視野・死角の確認。
- * プール内の事故防止策の徹底。

プール管理日誌の重要性

プールの**安全衛生管理**に大切な点は
プール使用の状況と実態を確実に把握し
関係者が**共通の認識**をもつことである
そのためには**プール管理日誌**に詳しく記入する
記入内容は以下①～⑦の管理日誌を作成する

- ① 当日の天候・気温・水温
- ② 遊離残留塩素測定結果
- ③ 授業数・遊泳者数
- ④ 事故トラブル・異常の有無
- ⑤ 事故対応、処置状況
- ⑥ その他特記事項・連絡事項
- ⑦ 水質水量・担当者名

図表例4 学校プール管理日誌

平成 年 月 日 () 天候 体育授業 学校開放 にてプールを使用 ※どちらかに○											校長	副校長	責任者	記入者
時間	8	9	10	11	12	13	14	15	合計	備考				
気温														
水温														
残留塩素濃度														
PH														
薬剤使用量														
利用人数	男子													
	女子													
見学者	男子													
	女子													
管理監督者	男性													
	女性													
安全確認実施者														
機械運転確認														
更衣室確認														
シャワー・トイレ確認														
プールサイド確認														
排(環)水口確認														
水中・水底確認														

※1 安全確認実施者欄には記名又は捺印し、以下の欄には○を記入

※2 プール利用時には途中パディシステムにて人数確認をおこなう

参考図書 **市民プール管理日誌**

〇〇市民プール管理日誌

平成 年 月 日 () 天候

所長	関係者	責任者	記入者

監視員	午前	責任者			監視員									
	午後	責任者			監視員									
時間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計
室温 (°C)														
水温 (°C)	25M													
	幼児													
濁度	25M													
	幼児													
残留塩素濃度														
PH														
採暖室 (°C)														
一般利用人数	25M													
	幼児													
	小計													
団体貸切人数														
教室参加人数														

総利用者数

--

① 基本的な監視方法について

監視員・監視台
があれば最適!!
高所より全体を見守る



複数名で監視する!!
必ず水中で監視する
適切な人数管理で・



近年のプール熱中症対策



昨年の実例

- 全国平均事情

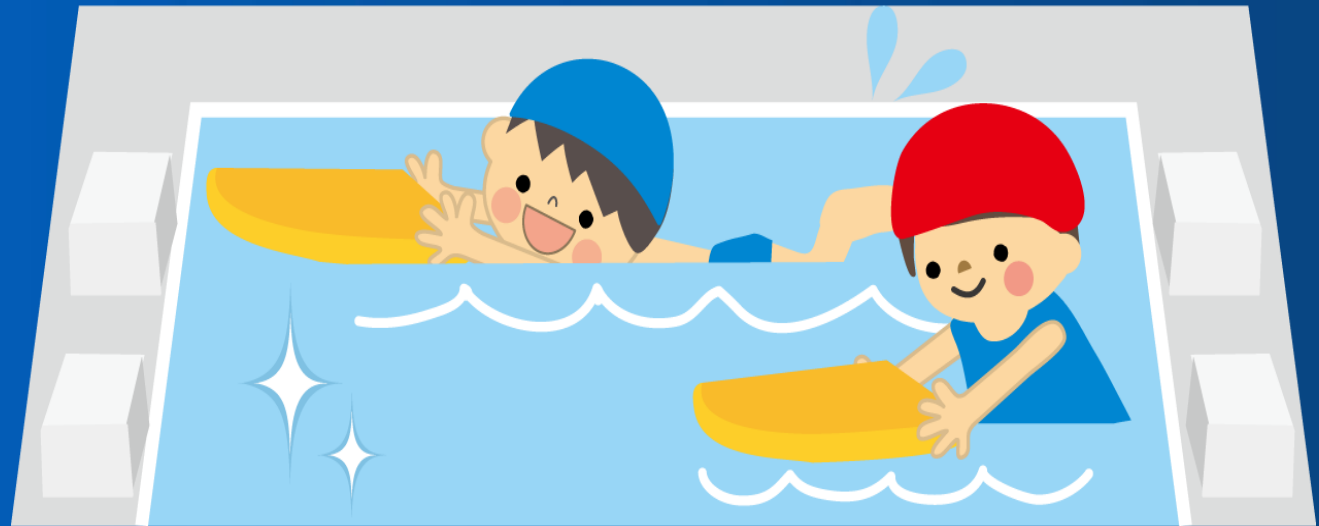
A 65°C以上? B 70°C迄?

- プールサイドの気温+プール水温

気温35°C+水温30°C=65°C以上で中止か?

ポイント

- ① 施設環境
- ② 遊泳時間
- ③ 水分補給
- ④ 場内放送



● 運動に関する指針

気温 (参考)	WBGT 温度	熱中症予防運動指針	
35°C以上	31°C以上	運動は原則中止	WBGT31°C以上では、特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合は中止すべき。
31~35°C	28~31°C	嚴重警戒 (激しい運動は中止)	WBGT28°C以上では、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 運動する場合には、頻繁に休息をとり水分・塩分の補給を行う。 体力の低い人、暑さになれていない人は運動中止。
28~31°C	25~28°C	警戒 (積極的に休息)	WBGT25°C以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
24~28°C	21~25°C	注意 (積極的に水分補給)	WBGT21°C以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24°C未満	21°C未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	WBGT21°C未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

本年も配布資料を用意しました。

快適なプール環境を目指して・

どうぞよろしくお願い致します。

**この後の実技で監視法等を
ご確認下さい。**

